

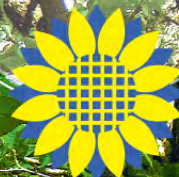
人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来



第56号

2020年

5月25日発行



あまの 議会だより

主な記事

◎新年度予算・・・2P

◎補正予算・・・10P

◎一般質問・・・16P

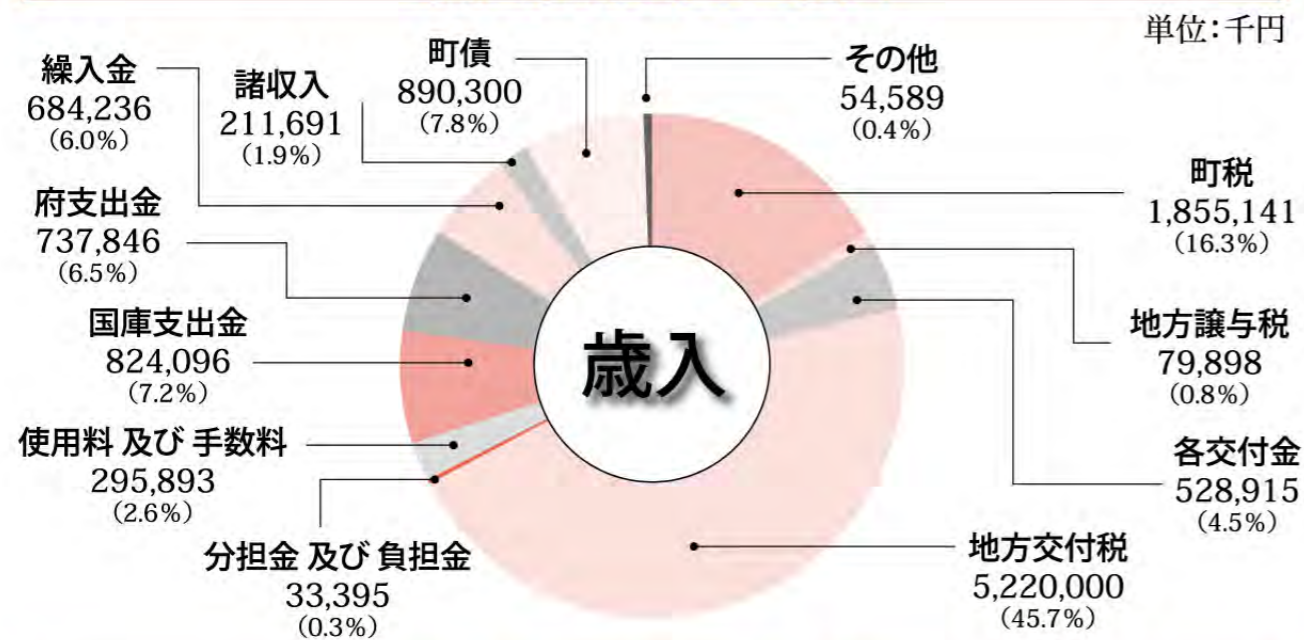
《題字》加悦谷高等学校・宮津天橋高等学校加悦谷学舎書道部 浪江未玖 さん

新緑の野田川親水公園

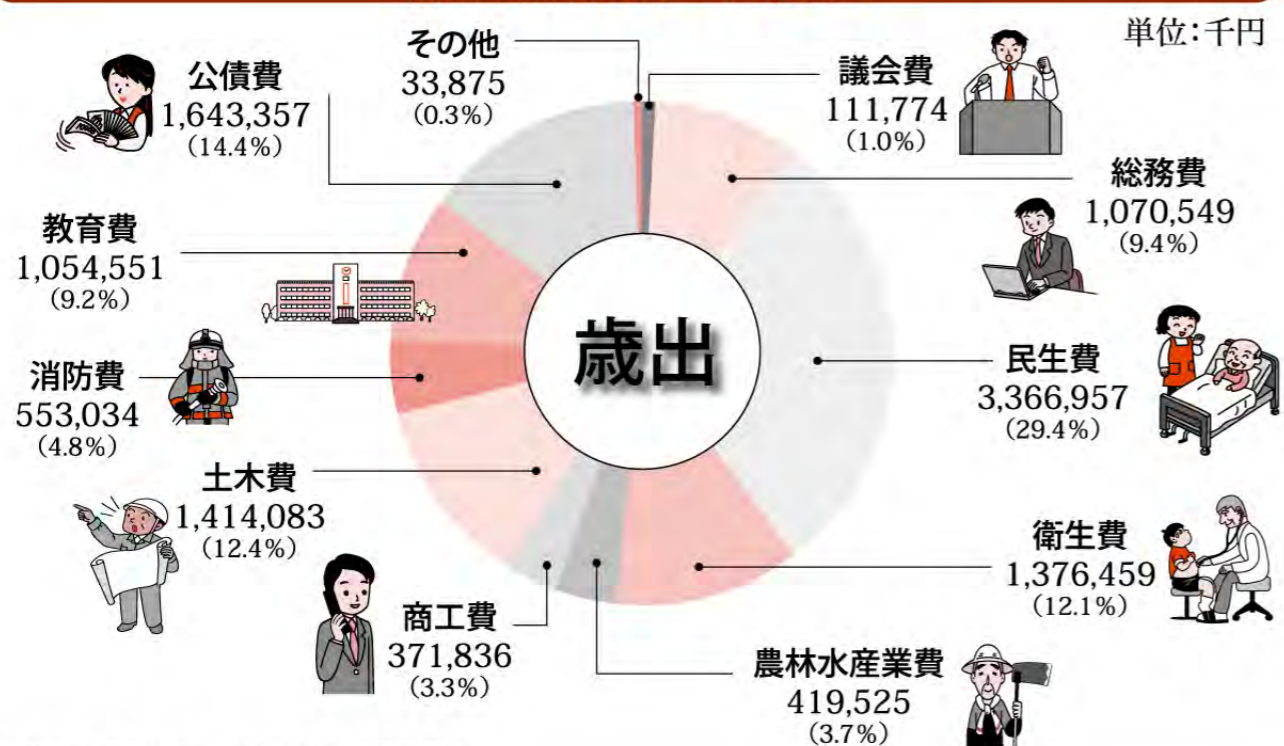
令和2年度 一般会計当初予算 114億1600万円 可決

シルクプロジェクト 予算修正案が可決

歳入合計額 114億円



歳出合計額 114億円



※端数整理のため一致しないものがあります。

令和2年度会計別予算額

単位:万円

会計別	総額
一般会計	114億1,600
特別会計	
宅地造成事業	7,547
下水道	16億8,000
農業集落排水	3,650
介護保険	
事業勘定	27億3,400
サービス勘定	1,000
土地取得	39
国民健康保険	
事業勘定	22億4,300
直診勘定	8,400
後期高齢者医療	3億3,920
財産区	9,254
小計	72億9,510
合計(A)	187億1,110
水道事業会計	
収益的収入	8億0,118
収益的支出(B)	7億9,679
資本的収入	1億6,046
資本的支出(C)	4億0,282
総合計(A)+(B)+(C)	199億1,071

新年度予算のようす

3月定例会は、3月4日から3月30日までの27日間で開催した。最初に、諸般の報告。その後山添町長から令和2年度施政方針が示された。自治功労者の表彰1件、人権擁護委員の選任3件が同意された。続いて条例案件13件、宮津と謝環境組合規約の変更1件、財産の無償譲渡1件、令和元年度補正予算7件、令和2年度予算10件など、32議案について提案説明を受けた。総務文教厚生常任委員会及び産業建設環境常任委員会ともに4日間、所管事項について担当課から説明を受けた。一般質問は14人が登壇し、水道事業の民営化、加悦S.L広場存続、がん対策など、町の考えを問いただした。令和2年度一般会計予算28号の修正案が議員より提出され、修正案が賛成多数で可決した。その他の議案は原案通り可決した。追加議案として、専決処分報告案件10件が提出された。

コロナによる影響額は

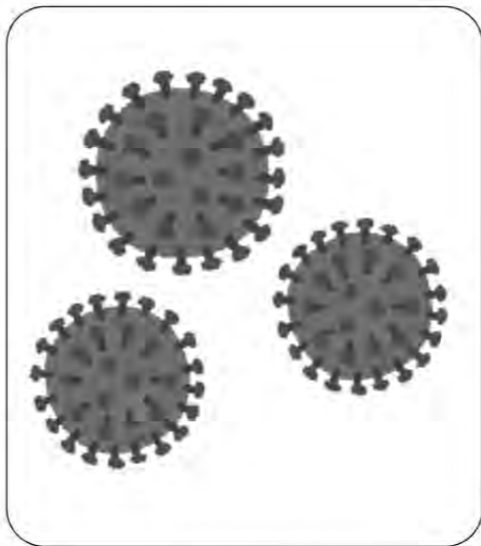
高岡伸明

問 町内の事業者も予約のキャンセルなどの影響が出ています。影響額は、

町長 町内感染者はいないが、(3月議会当時)住民の生活への不安はある。商工会のアンケート調査によれば8割の企業が影響は出ると予測しているが、現状の詳細は分からない。

問 公共料金の支払い困難な方に対し支払い猶予等柔軟な対応要請があった。当町の水道料金等の対応はどうか。

上下水課長 上下水道使用料等公共料金と合わせ支払い猶予、柔軟な対応の要請があった。対策本部で検討中である。



広がるコロナウイルス

SL存続の全町民的議論を

永島洋規

問 3月末で閉園するSL広場が存続出来るよう、町長は日本冶金本社に向きお願いしたのか。

町長 行っていないが近日中に会長と面会する。

問 府・町・冶金大江山製造所・加悦鉄道保存会の4者で協議中と聞いたが、会議開催数と、町長の出席回数は。

町長 4回開催され、出席は1回。

問 町長が姿勢を示さないと事は動かない。今からでも本社に行くべきだ。

町長 会長との面談で存続をお願いしたい。

問 存続は全町民的課題、状況説明し、町民意見を聞いている存続運動が必要である。

町長 一考する。

子供の安全第一に工事を

問 令和2年～3年にかけて、子ども園建設と桑小解体を一体的に行うことが計上されている。工

事工程表では、3年1月～6月まで、建設工事と解体工事が重なる。この間、桑飼保育園では通常保育を実施。外遊びも昼寝も出来ないのでは。

子育て課長 桑小解体工事は、先送りもありうる。再度検討したい。

問 桑小解体後すぐに桑保解体を予定。なぜ一本で発注しないのか。工期も短縮でき、共通経費も安くなるはずだ。

子育て課長 解体は、再度考え方を整理したい。

問 新園舎で保育が始まる、4年度以降に解体すべきである。

子育て課長 特養建設に時間的猶予がとれるようなら見直したい。

食べる桜による六次産業化

杉上忠義

問 桜の植樹を行い、まちづくりの気運を盛り上げてきた、「桜プロジェクト(百商一気)」が、みる桜から食べる桜へ展開し「六次産業化」を目指すとしている。「六次化」とは一次産業を担う農林漁業者が、加工、流通・販売に取組む経営形態。顔が見える食品が目ざされている。町内の遊休耕作地の適地に「食用大島桜」を植える。京都府立大学の指導を得ながらの取組みとなっている。

農林課長 桜プロジェクトの視察研修にも職員が同行して情報共有している。耕作地は相談しながら決めていく。食用桜葉を塩漬けにして出荷販売したいと研究している。

小学校再編は万全の体制が

問 学校の統合、終業式、閉校式が連日報道されている。気になる点は、校舎の利活用は、閉校前から検討すべきであったと話す市町村が多いこと。文科省の「廃校プロジェクト」に何故申請しないのか。

学校課長 加悦小校舎の受け入れ整備は早くから行ってきた。校舎・グラウンドの利活用は、地元区・住民とよく協議する必要はある。申請は、調査検討している最中である。

総合庁舎化が行財政改革

問 3庁舎の管理事業の予算が約4千5百万円。行革、役場機構改革が必要だ。建設的な会議が行われていないが。

総務課長 行革事業の中での検討課題である。

エレベーターは必要か

今井浩介

問 エレベーターを設置することで、維持費に年間約60万円の点検料がかかる。現在2・5庁舎として庁舎の運営がされているが、野田川庁舎2階は会議等で使用されており、会場を1階、もしくは近隣のわくばる等を使用することで不要となり、年間約60万円の維持費や故障等に伴う修繕費を考えると、財政面から見ても削れる部分かと思うが、野田川庁舎のエレベーターの使用を停止することはできないか。ホームページにも2階部分は掲載されていない。各課も1階のみであり会

議等以外には2階は使用されていない。現段階で総合庁舎計画も無く、今後も野田川庁舎を0・5庁舎として運営するのであれば、なおさらエレベーターに係わる費用は無駄な経費だと思ふ。このお金を少しでも住民サービスに使用して頂きたい。

住環境課長 野田川北庁舎のエレベーターは京都府の福祉のまちづくり条例に基づき設置している。

町長 京都府の条例の基礎で設置をされていると認識しており、必要不可欠だと認識しているが、改めて調査をしたい。



福祉の面では必要

新たな産業プロジェクトを

山崎良磨

問 与謝野ブランド戦略を考案中でホップについてはある方向が出ているが、シルクについては動きがにぶいように感じる。新たなプロジェクトを模索するべきでは。

商工課長 様々な産業振興について勉強している。

問 和2年度を分岐点とし節目をみたい。

町長 町長はどう考えるか。

町長 新しい産業振興については絶えずアンテナをはっているが、シルクプロジェクトについてはもう一年継続し民間継承を模索したい。

かやこども園

渡邊貫治

問 認定こども園施設整備事業として11億5千万円計上されているが。

子育て課長 桑飼保育園、小学校を解体して加悦地域こども園を整備し令和3年度、開園を目指すものである。

問 債務負担行為(令和2年度から令和3年度)これは、何か。

企財課長 認定こども園施設整備事業として11億5千万円計上している事業を、令和2年度から令和3年度にかけて行なう、事業費枠を示すものである。

問 債務負担行為限度額11億5千万円におさまるのか、超えた場合どうするのか。

企財課長 超える場合は令和2年度補正予算で債務負担行為の変更をお願いしたい。

問 公適債(集約化)、施設整備債等申請したのか。

企財課長 年度ごとに申請したいと考えている。

問 解らないものは解らない

問 それではどの様に予算案の積算ができたのか

企財課長 債務負担行為そのものは、財源を上げたものではない。今後令和2年度から3年度にかけての事業見込を上げたものであり、予算化するものである。

問 私は、このようなことを、町民の皆様にも聞かれても、説明出来ない。解らないものは解らない。(議員提言)



現在の浪江谷

問 認定こども園施設整備事業として11億5千万円計上されているが、超えた場合どうするのか。

企財課長 超える場合は令和2年度補正予算で債務負担行為の変更をお願いしたい。

問 公適債(集約化)、施設整備債等申請したのか。

参加しやすい取組みを

山崎政史

問 敬老会の出席者の割合は。

福祉課長 町内の75歳以上の方に案内を出し、例年15%程度の参加となっている。

問 出席率が15%程度に對して町としてはどう考えているのか。

福祉課長 急激に減っている事はないが年々減ってきている。参加しにくいといったお声も聞く中で今後、敬老会のありかたを考える必要がある。

問 各地域や団体に協力を求め多くの方が参加できる取組みをするべきではないか。

福祉課長 地区からも意見を聞き、今年から出欠のハガキに意見を書いてもらう欄を作っており、参加者だけでなく欠席の方の意見も聞き、取組みにいかしていきたい。

問 計画的な整備を

問 消火栓1基の計上が必要数は。

防災課長 消火栓・防火水槽の充足率が43%でまだ整備する必要がある。

問 整備計画はあるのか。

防災課長 各区からの要望を精査し整備している。防火水槽のない場所での水利は。

防災課長 自然水利を利用している。

問 近年の小雪などの影響で自然水利が使えないことが想定される。各区からの要望だけでなく町としての整備計画が必要なのは。

防災課長 必要な場所は多くある。各区からの要望のほかに消防団とも連携して設置していきたい。



養蚕のようす

10数年進展のない原因は

高岡伸明

問 シルクプロジェクトはここ数年進展がないと

商工課長 様々な障害があった。やつとレールに乗れた感がある。

商工課長 引き継ぐめどが立つのか。方向性の議論を重ねた。令和2年度が重要だ。関わりたいと複数社、話が来ている。

問 民間の自立運営とは、どのような形か。

商工課長 組合・法人等を考えている。

岩滝大名行列の実施計画

宮崎有平

問 岩滝大名行列は、令和3年度に実施の予定だが、どの程度の費用と規模で行うのか。

企財課長 前回と同じ規模の大名行列は、人的にも物理的にも無理と考えている。基金が700万円程度あるので、できる範囲で実施したい。時期や場所は保存会と協議する。近隣市町のイベントともコラボする仕掛けを考えたい。

問 4K・8Kテレビへの対応

問 4K・8Kテレビが普及しているが、KYT有線放送では、見る事ができない。対応の考えは。

町長 かなりの投資額が必要になるので対応は考えていない。各家庭において、パラボラアンテナを上げて対応してほしい。

問 消防団第2分団の車庫

問 平成30年の消防団の再編で岩滝地域の消防団は、4つの分団を2つの分団にする再編があり、第2分団の車庫がない状態になっている。測量委託料が予算に上がっているが、いつ車庫が完成か。

防災課長 今年度で測量業務を実施し、3年度で造成の設計をする。4年度で建築の設計業務をして、5年度には消防車庫の建築工事を実施したい。

庁舎の維持管理費の現状

和田裕之

問 3庁舎の維持管理費や委託料は毎年かなりの多額となっている。また、修繕費に於いてもエアコン等野田川、加悦庁舎に於いては特定フロンを更ったエアコンであり、更新には多額の費用が必要となる。更新計画を早急に立てるべきだ。

問 野田川庁舎の本館は閉鎖だが、老朽化により大変危険である。壁の崩壊等で怪我が発生してからは遅い。有効活用も含めた解体等の計画はどうなっているか。

総務課長 現段階での解体の計画方向性はない。

問 3月28日(土)29日(日)閉園近いSL広場では、東京、広島など他府県ナンバーの車も多く、全国から多くの鉄道ファンが来園された。二日間入り場者数1600人余りであった。多くの子ども連れなどが写真を撮っていた。特に100mほど往復していたガソリンカーには、窓から外の景観を楽しみながら嬉しそうな笑顔が印象的だった。私はやはり我が町の有力な観光資源だと思う。町長は近く管理会社の日本冶金の本社に、SL広場の件で行かれる。加悦鉄道保存会の方も懇願されているようにすべて売却でなく、数両でも残される話をされるべきである。

町長 日本冶金グループが管理され完全民営の施設だが、27の車両を、町の資産として残して頂くようお願いする。今日まで大変厳しい経営であった点に感謝し、27車両を出来る限り保存したい。

問 下水道会計へ多額繰出し

町長 繰入金金の増加は影響が大きく、一般会計のあらゆる事業に一層の制約となる。上下水道審議会で検討する。

加悦SL広場の存続を

安達種雄



老朽化する野田川庁舎本館

町長 日本冶金グループが管理され完全民営の施設だが、27の車両を、町

町長 繰入金金の増加は影響が大きく、一般会計のあらゆる事業に一層の制約となる。上下水道審議会

町民のみなさまの思いを議会へ

■ 請願と陳情

町政に関する要望や意見を直接、町議会に申し出ることを「請願」「陳情」と言います。請願には町議会議員の紹介が必要ですが、陳情にはその必要はありません。陳情については、請願のように採択・不採択を決める場合と、提出された陳情のコピーを本会議の際に議員の議席に配付することとどめる場合とがあります。どちらの方法にするかは議会運営委員会で決定します。

■ 請願または陳情のできる方

未成年者や日本に生まれている外国人、町内に住所を有しない人などでもできます。

■ 受付手続き

請願または陳情は、平日の午前8時30分から午後5時まで、加悦庁舎3階の議会事務局で受付しています。直接、議会事務局までお持ちください。

賛成討論

杉上忠義

「旧加悦町人工飼料育生糸は完成」

商工会特別事業補助金は、内容、目的そして成果を何に求めるかわからない。商工会に委託する形の「プロジェクト事業」体制では町当局の本気度が問われる。加悦町人工飼料研究室が「蚕の全齢人工飼料育生糸で織りあげた丹後ちりめん」を完成している。しかしながら実用化には、飼料コスト問題が解決されない限り難しいことがわかったが、この研究結果報告書をもとに更に深化させれば、丹後ちりめんの多方面での発展につながる。この観点からみて、プロジェクト事業費は必要ない。



健診を受けやすい環境を

人間ドック検査料の
予算は対前年度比12・9
%減、約180万円の減
額予算だ。P.E.T.検診お
よびP.E.T.以外のオプシ
ョン分の補助率を7割か
ら5割に減額するものだ。
希望者の増加を理由とし
ているが、増えることは
良いことである。本末転
倒であり、補助減額はす
るべきではない。
保健課長 当町では集団
検診を基本的なスタイル
としている。

和
田
裕
之

補助の減額は本末転倒

国民健康保険特別会計予算

国民健康保険特別会計予算に対する討論

反対討論

永島洋視（日本共産党与謝野町議員団）

「負担増は、町民の期待に反する」

令和2年度予算には、人間ドックの胃カメラ等のオプション健診とP.E.T.健診の自己負担3割を5割に引き上げる内容が含まれている。この健診でがんの早期発見が出来たという人もある。改定で国保会計の負担軽減は僅か165万円、負担増により利用者が減り、がんの発見が遅れ重症化すれば、医療費増加で国保財政圧迫の一因となる。町国保の魅力は、人間ドックのオプション健診とP.E.T.健診の充実である。今の制度を維持することが町民の期待に応える道である。

令和2年度一般会計予算に対する修正動議

『賛成多数で可決』

提出者 山崎 良磨

商工業振興費の商工会助成事業の中にある商工会特別事業補助金のシルクプロジェクトの予算に該当する300万円を予備費に移動する案である。

与謝野ブランド戦略を否定はしていないが、一方で産業を創出することの難しさも感じている。

平成28年度より4年間にわたり繰り広げられてきたシルクプロジェクトだが、傍聴した常任委員会での説明や提出された説明資料を見ても、この一年で今までできなかったことが飛躍的に躍進することを想像できなかった。

このプロジェクトにおいては民間ではなかなか着手しにくい実験的なデータを採取した、有意義な立証実験であったとして一旦終了し、新たな産業の確立を模索するフェーズ(局面)に突入する時期に来たと思う。このプロジェクトに参画された皆様には頭の下がる思いだが、勇気ある撤退を提言したい。

以上の理由により修正案を提出する。

令和2年度一般会計予算に対する討論

賛成討論

高岡伸明（日本共産党与謝野町議員団）

「経営が成立する展望がない」

賛成の第一の理由は経営として成り立つ展望がない。4年間多額の費用をかけても進展がない。第二の理由は民営化の実現性が極めて低い。赤字が歴然、補助金で成り立っている事業だ。第三に資料提出の遅れ、委員会での説明も本会議前日であった。第四に厳しい財政のもとで300万円の支出、その効果が見込めない。雇用が何人程度生まれるのか、関連業務での波及効果が望めるのか説明がない。一年早め見切りをつける英断をするべきことを申し上げ修正案に対する賛成討論とする。

内容説明

令和2年3月議会での条例改定では、3点について提出された。
 1点目は、大内峠一字観公園の使用料の改定であり、利用者の利便性の向上と受益者の明確化を図るためである。
 2点目は、クアハウス岩滝のリニューアルオープンを機に使用区分及び使用料等を変更するための改定である。
 3点目は、旧尾藤家住宅の適切な保存と活用を図るため、入館料及び使用料等についての改定である。
 質疑の後、全員一致で可決された。

クアハウス条例一部改正

多田正成

問 全館使用料、個人一ヶ月間、大人8千円、障害者6千円、小人4千円は管理者が示した料金か。
観光課長 額を上限として行政が定めた。
町長 管理者にも努力を要している。指定管理料を極力下げられる様に努力する。

クアハウス管理運営事業に5986万

町民要望にこたえるための確、確実な当初予算編成が求められる中、歳入歳出予算の総額からそれぞれ5033万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ131億7515万円とする補正予算。焦点となったのは、クアハウス改修費の地方創生交付金からはずれる金額が必要となった財源問題。
 多くの議員が活発に質疑を行った後、全会一致で可決された。

<主な一般会計補正予算>

◎ふるさと納税事業	470万円
◎地方バス路線支援事業	915万円
◎給食センター管理運営事業	528万円
◎生活支援プレミアム商品券	△1250万円(減額)
◎六次産業化推進事業	△340万円(減額)

和田裕之

問 クアハウス岩滝の改修工事は、る過機が1基も更新がされない状況での、4月24日リニューアルオープンとなるが、問題なく開店できるという理解で良いか。
観光課長 点検結果では問題はない。指摘のとおり、順次更新計画を立て、次年度以降で更新していく。



改修されたクアハウス

4月24日オープンの経緯は

高岡伸明

問 クアハウスの4月24日のオープンは突然の話だ。そのいきさつは。
観光課長 住民の皆様が、4月に待ち望んでいる。る過機が動くことを確認し、総合的に判断した。



オープン間近

券売機の購入慎重に

山崎良磨



購入は慎重に

問 資料を見るとクアハウス用に購入を検討している券売機は通常業務に使用するにはオーバースペックに感じるが用途を再度確認したい。
観光課長 ただの券売機業務に使用するのみだ。
副町長 我々としても必要な機能はいらないと考える。機種を選定については再確認をしたい。

スマートフォンにて町政情報に簡単アクセスできます！

下記、二次元バーコードをスマートフォンにて読み込んでいただければ与謝野町ホームページの町政情報のコーナーにアクセスできます。リアルタイムな情報をお求めの方は是非お試しください。



手順① スマートフォンのバーコード読み込みアプリを起動。



手順② 二次元コードを読み込む。



手順③ 読み込みによってでたアドレスをタッチする。

意見要望 加悦学童保育について、加悦地域公民館で実施されるが、児童が事故に遭わないよう交通安全対策等に努められたい。(回答：社会教育課)

回答 小学校下校時の通所については、学校指定の通学路を利用し、学校側が大人数にならないようグループ分けを行い通所する。また、施設への入退は、施設裏側とし、児童が直接府道へ出ないように考慮している。



加悦地域公民館

意見要望 公共交通のあり方について、特にバス路線の不便解消に努められたい。(回答：企画財政課)

回答 当町の公共交通、とりわけバス路線については、丹後海陸交通(株)が運行する幹線を中心に、それらを補完するコミュニティバスひまわりを運行しているが、乗車人数の減少や運行会社の運転手不足などにより、令和2年9月末をもって病院線を再編せざるを得ない状況となっており、それらの一部を補完するため、コミュニティバスの再編を検討している。

住民の皆さまに満足いただけるサービスを提供することは極めて難しいが、今後ともできる範囲での不便解消に努めたい。

取得金額 1232万円	9. 更衣ロッカー 6台	●財産の取得 (クアハウス岩滝更衣ロッカー等取得)	1月臨時議会は、1月16日に開催された。提出議案はクアハウス岩滝の更衣ロッカー等購入のための財産の取得1件が上程され、全員賛成で可決された。
	8. マスターキー (No.6・7更衣ロッカー対応) 1個		
	7. 下足ロッカー (ブーツ対応) 2台		
	6. 下足ロッカー 14台		
	5. マスターキー (No.4更衣ロッカー対応) 1個		
	4. 貴重品ロッカー 1台		
	3. マスターキー (No.1更衣ロッカー対応) 1個		
	2. キーバンド 372個		
	1. 更衣ロッカー (ナンバーシールプレート付) 62台		

内容説明

1月臨時議会

3月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載 ○印は賛成 ×印は反対 (議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の成否を決定します)

議員名	賛成	反対	河邊新太郎	山崎良磨	杉上忠義	山崎政史	今井浩介	下村隆夫	渡邊貫治	浪江秀明	宮崎有平	高岡伸明	永島洋規	安達種雄	多田正成	和田裕之	家城功
令和2年度与謝野町一般会計予算に対する修正案	9:5		×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	—
令和2年度与謝野町国民健康保険特別会計予算	11:3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—
令和2年度与謝野町一般会計予算	13:1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

議会懇談会要望書 町長から回答が届く

与謝野町

昨年10月に開催した議会懇談会において寄せられた行政に対するご意見・ご要望の重点項目について、山添町長から回答が届きました。その内容がこちらです。

意見要望 山城建設様付近の交差点について、交差直前の場所に停止標識、停止線の設置要望をしていただきたい。(回答：防災安全課・建設課・学校教育課)

回答 府民協働型インフラ保全事業により京都府公安委員会に要望したが、道路交通法の条件に合わないとの理由で不採択となっている。また、平成26年度に押しボタン式信号の設置要望を京都府公安委員会に行ったが、交差点改良が伴うため実現していない。



岩滝地区・山城建設様付近の交差点

意見要望 河川の整備・浚渫や治山・砂防堰堤の浚渫、府道岩滝加悦自転車道の管理や照明新設など、京都府と連携を強化し、さらに町民の要望実現に努められたい。(回答：建設課・農林課)

回答 河川の整備・浚渫や治山・砂防堰堤の浚渫、府道岩滝加悦自転車道の管理、照明新設などについて、さらなる実現に向けて、引き続き積極的に要望をしていく。

意見要望 スポーツトラクターの管理を徹底し、グラウンドの整備に努められたい。(回答：社会教育課)

回答 現在2台のスポーツトラクターを利用し、町有グラウンドの整備を行っている。スポーツトラクターは、車両本体の整備や消耗品を交換する必要があり、予算の関係もあるが、計画的なスポーツトラクターの管理を行い、町有グラウンドの整備に努めたい。

意見要望 加悦小中グラウンドは広いので、もう一箇所トイレを設置いただきたい。(回答：学校教育課)

回答 現在、一箇所設置しており、教育活動でグラウンドを使用する上では支障はないと考えている。新設には相応の設置費用や設置後の維持管理経費が見込まれることから難しい。



加悦小中学校グラウンド

総務文教厚生常任委員会報告

報告者・宮崎有平

学校給食のあり方について調査

令和元年11月25日
民設・民営でハーベストが運営し、施設整備費を委託料で20年償還をしていく。

ハーベスト株式会社宮津工場を視察。新しい施設であり、大変綺麗で、衛生管理が行き届いている。

宮津市教育委員会とハーベストの担当者から調理方針、アレルギー対応方針、食育活動方針、調理業務体制方針、危機管理基本方針の説明を聞き、管理運営が完璧だと感じた。

給食の試食もしたが、大変美味しかった。言葉と心が触れ合うところも感じた。

宮津与謝環境組合報告

報告者・永島洋視

令和2年2月21日

今定例会に提案された議案は4件で、その全てが同意及び承認された。

令和元年度補正予算第2号については、施設建設費のうち外構の舗装工事を翌年度施工に変更したことによる5400万円の減額補正である。



稼働を始めた新ゴミ処理施設

広報特別委員会報告

報告者・高岡伸明



2年間の広報委員による議会だよりの編集が終わります。

委員会の皆様の大きな協力のおかげをもちまして終えることになり、心よりお礼を申し上げます。

議会事務局の担当者には大変お世話になりました。お礼申し上げます。

振り返りますと、数々の失敗もありましたが、委員の皆様のおかげをもちまして、乗り越えることができたと思っています。

後期高齢者医療広域連合議会報告

報告者・和田裕之

令和2年2月7日

他案件では、主なものとして、令和2年度・一般会計予算であります。四条烏丸の京都COCON丸5階・第1会議室において、令和2年・第1回定例会が開催された。連合長提出議案は9件であり、うち1件は人事案でありました。

宮津与謝消防組合議会

報告者・安達種雄

令和2年2月20日

令和2年第1回宮津与謝消防組合議会定例会が、2月20日に開催された。本会議前には全員協議会が開催された。

与謝野町宮津市中学校組合

報告者・今井浩介

令和2年2月21日

元年度一般会計補正予算1件、令和2年度一般会計予算1件の合計9件が議案上程された。

が引き続き任命され、令和2年度一般会計は総額9214万8000円と

職員制度に伴う改正や法し、すべての議案が可決の改正、補正予算では寄付金による備品購入、令



火災へのスムーズな対応を目指す

問 12月議会でも言ったが、若年層の起業を促すのであれば、指定管理者制度を用いるのではなく、町がアフターケアも含め違う制度を模索するべきと考える。府と連携して千葉県等が実施している創業資金融資制度を町として実施できないか。

町長 旧町時代から制度融資を設けていたが、金融機関や保証協会の保証のあり方が大きく変わり平成18年度で廃止している。現在商工業者向けの融資については京都府の融資制度を用いてもらい、町としては利子補給制度、保証料補助制度として支援している。新たな創業資金融資制度を設ける考えはないが、有望なビジネスモデルを有する創業者やベンチャー企業の実在は必



山崎良磨 議員

Q 若い起業家の援助構築を

A 議論を深めていきたい

要であるため金融懇談会などで議論を深めていきたい。

問 産業創出センターの後日談として良くない話を聞いているが。

町長 私もすべてを知るところではないが、調査し報告する。



援助構築を

一般質問 ここが聞きたい

「一般質問」は定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であるが、質問を受ける執行機関も共に十分な準備が必要なため事前通告制となっています。「質疑」は提案された議案に対して疑義を問いただすことです。

※発言順に掲載しています



目次

ページ	質問事項	質問議員
17	若い起業家の援助構築を	山崎 良磨
17	バイオマス発電所の環境への影響は	高岡 伸明
18	水道事業民営化について	下村 隆夫
18	職員人件費に、二重退職金支払いか	渡邊 貫治
19	公共料金のキャッシュレス化は	山崎 政史
19	結論は決まっていたのではないかと	永島 洋視
20	新学習指導要領の準備は大丈夫か	今井 浩介
20	ジビエの加工施設は必要か	浪江 秀明
21	町の歴史、文化伝えるSL広場存続を	杉上 忠義
21	早期発見・早期治療に受診率向上を	和田 裕之
22	岩屋バス路線の変更を問う	安達 種雄
22	人生100年を見据えた施策を問う	河邊新太郎
23	介護現場の人員不足への対策は	宮崎 有平
23	基本的財源不足をどう考えるのか	多田 正成



高岡伸明 議員

Q バイオマス発電所の環境への影響は

A 環境影響調査実施後結果を受け判断する

問 バイオマス発電所の建設が予定されている。当町への環境への影響は。

町長 1年をかけた環境影響調査が実施される。その結果を受け本町への影響を判断する。

問 当町に対する建設についての説明はあったか。

町長 丸紅火力(株)・中部電力(株)から、日本冶金(株)・大江山製造所を介し説明にご来庁された。浜町区内、区役員・隣組長に対し、事業概要の説明を行った。

問 今後の対応についてはどのように考えるか。また、町民の安心安全の対応はどうするのか、その対策は。

町長 今後1年をかけた環境影響調査が実施される。その結果を受けての判断



環境への配慮を十分に

になる。事業関係事業者に対し、公害防止協定を締結していただくよう申し入れを考えている。

問 木質バイオマス発電所建設計画について、事業者と環境影響調査の実施と公害防止協定の締結についての覚書締結の発表があった。宮津市は、大気質、騒音、眺望景観など8項目の環境影響調査を行うことを事業者と協議、事業決定後公害防止協定が締結される。当町はどのような対応をされるのか。

町長 公害防止協定については当町においても提携していただくよう、申し入れをしていく。

Q 水道事業民営化について

A コンセッション方式は採用しない

問 水道事業の方向性は。

町長 水道事業は、9月定例会で承認された平成30年度決算のとおり大変厳しい状況。実績に基づき料金減少率を2・0%で見直すと平成29年度の簡易水道事業統合時に保有していた現金預金の11億4200万円が令和11年度に消失し、資金繰りが出来なくなると見込まれており水道事業の経営基盤の確立が急務となっている。

町長 PFIは代表的な手法だが町民のためになるのか。料金の見直しは。

町長 将来にわたり町民の皆様方に安全な水道水を安定的に届ける。そのためにも効率性や持続可能な観点から官民連携も視野にいたした調査研究を重ねている。水道の民営化コンセッション方



外部委託はいかに



下村隆夫 議員

式は当町には100%合致するものではないので採用の判断はしてない。又、料金値上げについての議論は上下水道審査会で一定の議論を行っていただく予定としている段階である。

町長 一般会計からの繰入金を減らすには。

町長 安定的に供給するにはどうか、窓口業務委託も含め議論する。今後、対策を総合的に講じていきたい。

Q 職員人件費に、二重退職金支払いか

A 退職組合負担金である

問 この様な制度は民間にあるのか。



渡邊貫治 議員

町長 令和2年度の予算書に計上されている職員人件費の中、退職手当組合負担金、退職手当組合特別負担金がある。これは職員に二重に退職金を支払っているのか。

町長 退職手当組合負担金は職員の給料月額に各市町村ごとに定められた負担率を乗じた額を退職手当組合へ負担するものである。合併前、旧町から積み立てた負担金の納入総額と、退職金と支払われている退職手当支給総額を超える場合に特別負担金として、負担金の納入総額と退職手当支給総額との差額の10%相当額を毎年度ごとに一般負担金とは別に、特別負担金として負担している。どちらも退職手当組合への負担金である。



大事な制度 退職金

Q 公共料金のキャッシュレス化は

A 実施の可否や時期の検討を重ねている

問 決済手段の多様化により、社会全体でのキャッシュレス化が進んでいる。行政機関の支払いもキャッシュレス化に対応することで利用者の利便性の向上だけでなく、行政内の効率化を同時に実現できるのではないか。

町長 町税等の公共料金は、口座振替か窓口支払い、もしくはコンビニ支払いの3つの支払い方法で納付いただいている。スマホ支払いにかかる収納手数料が口座振替に比べ5倍以上かかることになるため、財政負担も大きくなるため、費用対効果の観点も踏まえ実施の可否や時期について、検討を重ねている。



民間で進むキャッシュレス化

Q 結論は決まっていたのではないか

A そういう事実はない

問 センター開設と子ども園用地整備は遅れる。数年後に学校再編で用地が確保出来る可能性があり、現計画地に子ども園整備の理由が無くなったのでは。

町長 認定こども園は、第3者委員会で検討をお願いすることになる。そのうえで方向性を見出すのが町の役割。指摘は議員の見解である。

町長 条件有利な与謝小に決まりかねないと資料未提出となつたのでは。最初から決まっていたのか。



永島洋視 議員

町長 現給食センターは老朽化で更新は緊急課題。12月の議会委員会で、新センターは民設民営岩屋小の方針が示された。私は交付税で返ってくる有利な起債活用を検討がないと指摘した。再検討結果は、12億5千万円の建設費が辺地債活用で2億2千万円の町負担で出来ることが判明。建設は有利な財源活用で今後検討、場所は岩屋小と与謝小を候補地とする方針に変更。問題は議会に出された起債資料が、給食あり方検討委員会に未提出であった。何故か。

教育長 起債充当が出来る確実性のある試算でなかったため提出しなかった。あり方検討委員会は意見や提案をしてもう場であり、決定が目的ではない。



老朽化進む給食センター



山崎政史 議員

住宅確保の支援策は

町長 以前、京都府の補助事業である結婚子育て応援住宅支援事業の活用について質問したが、現在の進捗状況は。

町長 子育て支援と併せ移住定住支援の観点から、子育て世帯の移住定住を促進し、人口減少の抑制と地域の活性化を図るため、定住する目的で住宅を新築・購入する子育て世帯に対して費用の一部を補助する新たな補助金制度を令和2年度より創設する。

Q 新学習指導要領の準備は大丈夫か

A 教員個々の指導力向上を図っていく



今井浩介 議員

や指導内容を研究するほか、指導スタイルを作成し準備を進めてきた。教員個々の指導力向上を図るとともに、新たに教員を増員せず、担任教員を基本に、専科教員や外国語指導助手等の配置・活用を行い対応していく。

全国的に教員の長時間労働状況が改善されていないが、解決策等の考えは。

教育長 27名の支援員（臨時職員）を配置し、教員の負担軽減、児童生徒の学習支援、心の相談、健康安全上の支援等の充実を図っている。

問 学習指導要領は、時代の変化や子どもたちを取り巻く状況、社会のニーズ等を踏まえ、約10年ごとに改訂され、小学校では本年から、中学校では来年から全面実施される。外国語、道徳、プログラミング教育等8項目が追加され、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の視点から、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善される。予測困難な時代になっても子どもたちの「生きる力」になるという想いが新しい学習指導要領に込められている。町や学校として準備はできているのか。



指導力向上を

教育長 スムーズな移行に向け小学校英語科推進校2校を指定し、指導方法

Q ジビエの加工施設は必要か

A 施設の付加価値を高めるため必要である



加工施設当該地

問 先の補正予算においてかや山の家の改修にともない、ジビエの解体施設を設置したいとのことであった。与謝野町にその様な施設が必要なのだろうか。質問をする。

中丹認証ジビエ協議会のような認証・登録のシステムを設置するのか。調査部会・審査部会は設置するのか。国のジビエモデル地区指定をめざすのか。

処理施設の衛生管理は徹底できるのか。食用にできない部位の処理はどうするのか。



浪江秀明 議員

町長 本町が計画しているのは、かや山の家で食肉加工をし、かや山の家で料理として提供するという単独の取り組みとしてしている。よって、協議会の結成や認証・登録制度・調査部会・審査部会の設置については考えていない。また、規模的に少量なので地区指定は厳しいと思われる。

料理での提供においては、食肉処理業の許可を取得できうる施設として検討している。また、廃棄物については一般廃棄物として処理できるよう環境組合と協議している。

Q 町の歴史、文化伝えるSL広場存続を

A 車両保存、資源有効活用を検討する必要がある



杉上忠義 議員

か模索したが実現に至っていない。4者による車両保存方法。場所の検討、研修を行っている。今後は、府も交えて、日本冶金との「トップ懇談」の場を持つための調整を行い、車両保存を軸として、引き続き協議をしていきたい。

行政改革を問う

役場の機構改革だけでなく「多様な主体・地域が協働したまちづくり」が重要課題とあるが、何を指して取り組むのか

町長 住民と行政が力を合わせて地域づくりを行う調査事業を提案している。

問 日本の鉄道の歴史27車両が展示されている「かやSL広場」。閉園が新聞などで報道されて全国各地からの来場者が急増している。丹後地方の住民有志で設立された「加悦鉄道」は近代化遺産としても価値がある。広場存続を望む声が多い。

府、本町、加悦鉄道保存会、日本冶金による4者協議が立ち上げられたとあるが、協議は進展しているのか。町が何もせずに放置することがあってはならない。仮に他町で保存されても、今以上の歴史的価値を生み出すのは難しい。本町の今後の方針を決めたのか。



日本の鉄道の歴史



和田裕之 議員

問 がんは我が国において、死因の第1位であり、がん罹患者数は年々増加傾向だ。生涯のうち、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡する現状である。

国立がん研究センターの最新がん統計では、平成29年にがんで死亡した人は37万に上っている。

今や昔のような不治の病ではなく、現在の5年生存率は60%強となっており、半分以上の人にとって治療が考えられる病気となり、治る時代を迎えつつある。そのためには、がんは早期発見・早期治療が最も重要であり、有効な対策である。

国のがん対策推進計画では、受診率を50%以上の目標を掲げているが、



がんの早期発見を

全国では目標に届かない自治体も多くある。また、がんの種類で大差があるのが実態だ。当町でも更なる受診率向上の取り組みが必要ではないか。

町長 現在、本町は府下では高い受診率である。これは対象者全員への個別案内、総合検診化、また財政が厳しいなかでの無料実施が要因だと考える。若い世代へも受診頂けるよう、パンフなどで啓発もしているが、受診の必要性を理解していただけるよう、更なる対応を模索したい。

Q 岩屋バス路線の変更を問う

A 住民の皆様と協議していく



安達種雄 議員

である。岩滝と峰山には丹後を代表する総合病院があり、医療機関が無い地域住民には、乗り換えなしで病院へ行く心強いバスである。変更後はコミュニティバスによる火曜日と金曜日だけの運行となり、地域の皆さんの「生活が大変不安だ」との声が多い。高齢者、障害者が安心して暮らせる環境をつくるべきだ。

今年2月の「与謝野町公共交通会議」で岩屋乗り入れのバス路線が変更された。理由は乗客数の減少で、国の補助が受けられないとのこと。町長は「持続可能なまちづくり」を提唱し、急速に進む高齢化に真正面から向き合い、挑戦によって「すべての高齢者が、住み慣れた地域社会で、健康づくり、認知症・介護予防、地域医療体制の充実、公共交通の適正化」に取り組み、バス等公共交通機関を誰もが安心して利用できる利便性の向上を図る、と語っておられる。現在「病院線」は、峰山発→岩屋→北部医療センター行き一日6本、北部医療センター発→岩屋→峰山行き5本と、きめ細やかな時刻表



公共交通のあり方は

町の補助条件に乗客数が満たされず、対象外になった。ひまわりで岩屋、石川のバスルートを変更し、便数の縮小で住民の皆さまは不安と思う。今後の方策については、住民の皆様と共に協議していく。

Q 人生100年を見据えた施策を問う

A 介護保険事業と予防事業を一体的に実施する



河邊新太郎 議員

人生100年時代を見据え、令和2年度からは、介護保険事業と介護予防事業を一体的に実施することの法整備もされ、さらに地域包括ケアと連動し、高齢者施策を進めていく。

自転車保険について
万一のために、高額賠償に対応出来るよう自転車保険加入の必要性については、どのように認識しているか。
府内において自転車損害保険等の加入が義務付けされた。本町も自転車損害保険等の加入は、自転車利用者の責務である。



健診と生きがい

与謝野町の長寿化の進行状況と近年の与謝野町民男女の平均寿命と100歳以上の人口はどのように推移しているか。
本町の平均寿命は、平成26年の男性は80・25歳、女性は87・91歳である。100歳以上の方は令和元年度では、44名である。
高齢者の老化に関するデータの経年的変化に関する報告書では、加齢による身体・心理機能の変化が起こるのが、5年から10年遅くなっており「若返り」現象が見られる。長寿化・高齢化に伴う社会モデルの変化に対する行政の在り方、高齢者施策について、本町ではどのように捉え、取り組んでいるのか。

Q 基本的財源不足をどう考えるのか

A 将来を見据え財政分析、財政計画を策定する



多田正成 議員

事業の創設ではなく既存事業を進展させるよう取組む。
財政難に加え近隣市では水道、国保の値上げ、独自課税が協議されているが、当町ではどの様に考えているのか。
特別会計の運用も見直す時期に来ているが、独自課税までは考えていない、先ず改革を進める。

花粉症の予防対策について
花粉症が年々増加、今や国民病となっている。
厚生労働省の臨床実験などほどの様な結果か。
有効性が確認され、保険適用、指定許可を受けた医師の指導管理の下で「舌下免疫療法」が受けられる。

特別会計を含む財政難を今回京都府立大学に財政診断をして頂き、府下ワースト2位との結果である。以前から財政難に対し改革、改善を訴えてきた1人だが、何故成果効果に繋がらないのか。

取組はしてきたが、歳出規模抑制など方針、ルールが示せなかった。ひとつの町として規模の検証が出来ていなかった。
地方創生制度を活用しても事業費は100%補助ではない、事業に取組めば取組むほど一般財源に影響しその事が益々財政難の要因となるが。

国の交付金事業は支援が二分の一で後は本町の負担となり予算過多と認識している。第2期戦略では新たな



財政計画をしっかりと

Q 介護現場の人員不足への対策は

A 人材不足は深刻だ、外国人福祉人材も考える



当町所在の介護施設

介護施設の現状と、今後の課題は。
介護施設の人員不足は深刻であり、持続可能な介護現場のために、取り組みを進めている。介護福祉士修学資金貸付金の制度を創設したが、福祉職を志す若者が減っていることを実感した。

介護職の待遇は。
人材確保が困難な状況の中で、厳しい勤務状態は否めないが、特定処遇改善加算が設定され、月額8万円の賃金増の改善とリーダー級の介護職員については、全産業平均水準（年収440万円）を確保する制度が導入されている。
介護難民と言われる待機入居者の数と対策は。

特養老人ホームと老人保健施設等の待機者を含めると96人になる。町内福祉事業所の存続と地域社会で安心して暮らせる対策を講じることが大切である。

老老介護と認知介護の現状は。
独居・高齢世帯は多くあり、介護支援専門員が本人の支援、介護者の負担を軽減できるようサービス調整がされている。認知症については、認知症初期集中支援チームが対策を講じている。

高齢者の一人暮らしが抱える問題点は。
特養の待機者が多いため、在宅での福祉施策の充実が必要と考える。



宮崎有平 議員

特養の待機者が多いため、在宅での福祉施策の充実が必要と考える。

かやこども園の紹介

『友達大好き・こども園大好き!!』

子ども達の「やってみたい」気持ちをもとに、子どもが主体的に好きな遊びを見つけ、遊び、発見、工夫、推察し遊びが変化していけるような環境構成を大切にしています。昨年度は近くの福祉施設のお年寄りの方との交流を通して、いたわる気持ち、優しい気持ちを持てるような経験もしました。四季折々の園内外の活動、地域の方々との触れ合いを大切にしながら、生きる力を育む主体的な教育・保育活動を目指しています。

昨年度、加悦保育園と与謝保育園が統合して始まったかやこども園です。2年目のスタートとしてさらに友達関係が深まり、笑顔いっぱいのかやこども園になるよう、活動を進めていきたいと思っています。



巧技台に挑戦



どろんこ遊び



絵の具遊び



中学生との交流



買い物体験



話し合い



じゃがいも

山田保育所の紹介

『共に育ちあう』

山田保育所は、0歳児から5歳児の子ども達が元気に通所しています。子どもの人数は45名と少ないですが、その分、異年齢児との関わりが多く持て、5歳児は自然に小さい子ども達への優しい接し方を覚え、小さい子ども達は、5歳児の姿をお手本に色々な事に挑戦しようと頑張る姿が見られ、共に育ち合える良い環境にあります。



びよんびよんなわとびタイム

また、5歳児は、近くのデイサービスに来ておられる高齢者の方々との交流を毎年続けています。一緒に歌をうたったり、ゲームをしたりと短い時間ですが楽しく過ごし、高齢者の方々との関わりを通して色々な経験をさせてもらっています。

子ども達が元気で笑顔あふれる保育所を目指して、みんなで楽しさや喜びを共有し、家庭と地域の絆を大切にしていきたいと思っています。



仲良く砂遊びを楽しむ子ども達



サクラ咲く園庭